

そらシリーズの 奨励品種決定試験調査をして いる県の栽培状況について

中国四国農政局生産振興課
(各県へのヒアリングにより作成)

○ 趣旨

- ・栽培適正があるかわからないので不安・・・
- ・奨励品種でないものは、検査証明書に銘柄を記載できない・・・

※県の奨励品種や産地品種銘柄に設定されていない大豆は農産物検査で「その他大豆」として受検することになる

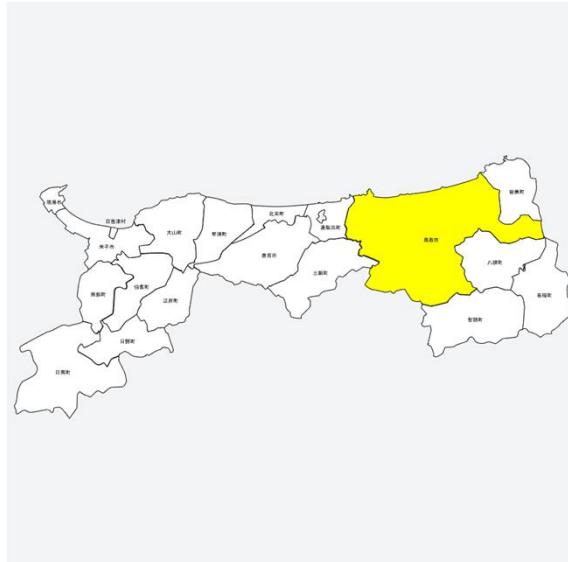


令和7年度にそらシリーズの奨励品種決定調査をしている県の栽培適正や評価について共有し、そらシリーズ導入の可能性の検討に生かす。

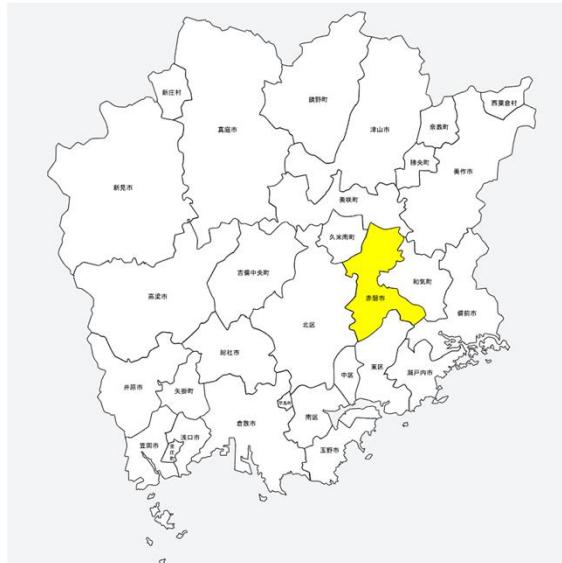
○そらシリーズの奨励品種決定調査の取組状況（令和7年度）

	鳥取県	岡山県	愛媛県 (東予)	愛媛県 (西予)
そらたかく	○	○	○	○
そらみのり	○	○	○	○
そらみずき	○	○		
そらひびき	○	○		

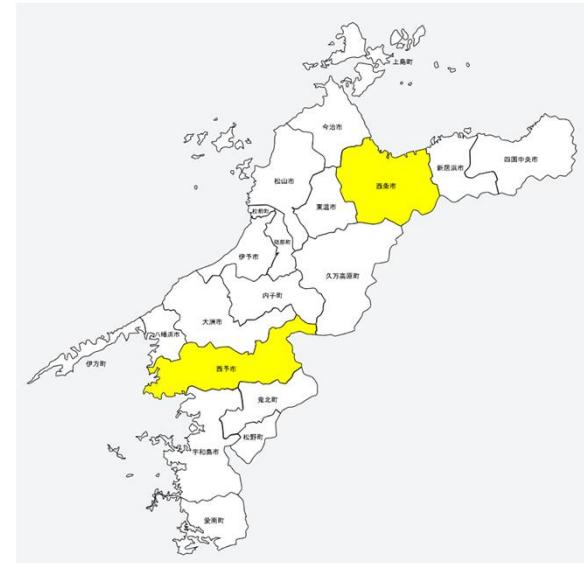
鳥取県：鳥取市



岡山県：赤磐市



愛媛県(東予：西条市、西予：西予市)



○そらシリーズの奨励品種決定調査の栽培概要①

鳥取県：場内試験

栽培形態：慣行（条間80cm×株間20cm）

	そらたかく	そらみのり	そらみずき	サチュタカ (対照品種)	そらひびき	星のめぐみ (対照品種)
播種期	6/6	6/6	6/6	6/6	6/6	6/6
開花期	8/1	8/12	7/27	7/28	7/20	7/21
成熟期	11/9	11/13	10/27	10/28	10/11	10/20
収穫日	11/14、21	11/21	11/5	10/30	10/23	10/30

岡山県：場内試験

栽培形態：慣行（条間80cm×株間20cm）、早播き：6/6、標播き：6/18、晩播き：7/7

	そらたかく	そらみのり	そらみずき	そらひびき	はれごころ (対照品種)
播種期	7/7	7/7	6/18、7/7	6/6、6/18	6/6、6/18、7/7
開花期	8/24	8/26	8/6、8/23	7/19、7/30	7/22、8/4、8/19
成熟期	11/17	11/	11/10、 11/15	10/12、 10/25	11/10、11/11、11/15
収穫日	11/20	11/	11/13、 11/18	10/23、 10/27	11/10、11/11、11/17

○そらシリーズ生育期の様子（岡山県）

成熟期頃（10/23～11/19）の様子

そらたかく（11/19）



晚播:成熟期やや遅い、なびき倒伏、着莢位置9.1cm

そらみのり（11/19）



晚播:成熟期遅い、倒伏程度やや大、蔓化あり、着莢位置9.1cm

そらみづき（11/12）



標播:なびき倒伏、着莢位置9.9cm

そらひびき（10/23）



葉色濃い、早・標播共通:青立ち株が多い、短茎で最下着莢位置3.8～5.0cm

はれごころ（対照品種）（11/12）



早～晚播共通:倒伏程度小、着莢位置6.2～8.8cm

○そらシリーズの奨励品種決定調査の栽培概要②

愛媛県（東予）：現地試験

栽培形態：密植（条間25cm）

	そらたかく	そらみのり	フクユタカ (対照品種)
播種期	7/21	7/21	7/21
開花期	8/29	8/29	8/29
成熟期	11/21	11/25	11/17
収穫日	12/1	12/1	12/1

愛媛県（西予）：現地試験

栽培形態：狭畔密植（条間42cm×株間22cm）

	そらたかく	そらみのり	フクユタカ (対照品種)
播種期	7/21	7/21	7/21
開花期	8/24	8/26	8/25
成熟期	11/17	11/22	11/7
収穫日	11/22	11/22	11/22

調整前の単収
363kg/10a
※R8年産用大豆そらみ
のり採種圃場

○そらシリーズ生育期の様子（愛媛県東予）①

開花～着莢期（9/11）の様子

そらたかく



そらみのり



フクユタカ（対照品種）



粒肥大期（10/17）の様子

そらたかく



そらみのり



フクユタカ（対照品種）



○ そらシリーズ生育期の様子（愛媛県東予）②

黄葉～落葉期（11/4）の様子

そらたかく



そらみのり



フクユタカ（対照品種）



収穫調査時の主茎長は、そらたかく：69.9cm フクユタカ：57.8cmであった。
そらみのりは未計測であるが、90cm以上となり、倒伏した。
(今年、倒伏したそらみのりはコンバイン収穫が可能であった。)

○そらシリーズに関する評価①

【栽培に際してよかつた点】

そらたかく、そらみのり（西予）

- ・着莢数及び一莢内粒数が多く、多収が見込まれる。

【栽培に際して難しいと感じた点】

そらたかく

- ・草丈、主茎長が長く、開花期頃から倒伏が始まり、成熟期の倒伏程度は対照品種と比べて大きかった。（鳥取）
- ・成熟期が遅く、後作の播種の遅れが懸念される。（鳥取、西予）
- ・成熟期の主茎水分の低下が遅く、収穫時の品質低下（汚粒）につながることが懸念される。（西予）

そらみのり

- ・草丈、主茎長が長く、開花期頃から倒伏が始まり、成熟期の倒伏程度は対照品種と比べて大きかった。（鳥取、東予）
- ・成熟期が遅く、後作の播種の遅れが懸念される。（鳥取、東予、西予）
- ・成熟期の主茎水分の低下が遅く、収穫時の品質低下（汚粒）につながることが懸念される。（西予）

そらみずき

- ・草丈、主茎長が長く、開花期頃から倒伏が始まり、成熟期の倒伏程度は対照品種と比べて大きかった。（鳥取）

○そらシリーズに関する評価②

【栽培に際して工夫した点】

そらたかく

- ・主茎が長い特性から、晩播き（7月上旬播き）して倒伏を軽減した。 **（岡山）**
- ・管内は小麦後での播種のため、狭畦無中耕無培土栽培（密植、条間40cm）で取り組んでおり、主茎型で遅い播種期（奨励品種決定試験、7月21日播種）でも生育量を確保している。 **（西予）**

そらみのり

- ・主茎が長い特性から、晩播き（7月上旬播き）して倒伏を軽減した。 **（岡山）**
- ・管内は小麦後での播種のため、狭畦無中耕無培土栽培（密植、条間40cm）で取り組んでおり、主茎型で遅い播種期（奨励品種決定試験、7月21日播種）でも生育量を確保している。 **（西予）**

そらみずき

- ・主茎が長い特性から、早播き（6月初旬播き）を避け、倒伏を軽減した。 **（岡山）**

そらひびき

- ・既存の奨励品種より早熟のため、生育量を確保するため、早播き（6月初旬播き）した。 **（岡山）**

○そらシリーズに関する評価③

【課題】

そらたかく

- 既存の品種と比べて小粒であるため、実需者の理解が必要となる。 (鳥取、東予)
- 既存の品種と比べ蔓化、倒伏程度が大きく栽培方法について検討が必要となる。 (鳥取)
- 従来品種と比較し、黄化・落葉が遅いため、ミナミアオカメムシの加害時期が長く、防除回数の増加が懸念される。 (西予)

そらみのり

- 既存の品種と比べ蔓化、倒伏程度が大きく栽培方法について検討が必要となる。 (鳥取)
- 晩熟かつ倒伏しやすい。 (岡山)
- フクユタ力に対し、熟期が遅い、若干、粒が小さいことに対し、それを上回るメリット感がほしい。 (東予)
- 従来品種と比較し、黄化・落葉が遅いため、ミナミアオカメムシの加害時期が長く、防除回数の増加が懸念される。 (西予)

そらみずき

- 既存の品種と比べて小粒であるため、実需者の理解が必要となる。 既存の品種と比べ蔓化、倒伏程度が大きく栽培方法について検討が必要となる。 (鳥取)

そらひびき

- 6月初旬播種でも短径で最下着莢位置も低いため、機械収穫による口スガ心配。青立ちしやすいため、機械収穫による汚粒の発生が心配。裂皮粒が発生しやすい。 (岡山)

○ そらシリーズに関する評価④

【品種としての有望度、奨励品種としての有望度とその理由】

鳥取

- ・当該品種は、奨励品種決定試験初年度のため継続して判断する。

岡山

- ・そらたかくは、やや晩熟のため、麦作との二毛作地域では播種期等の検討が必要である。ダイズモザイクウイルスC,D,E 3 系統に感受性のため、採種に注意が必要（褐斑粒の発生）。粒大は小さいが、外観品質は比較的良い。
- ・そらみのりは、晩熟のため、麦作との二毛作地域では導入が難しい。ダイズモザイクウイルスA2,C,D,E 4 系統に感受性のため、採種に注意が必要（褐斑粒の発生）。外観品質は比較的良い。
- ・そらみずきは、ダイズモザイクウイルスA～E 6 系統に感受性のため、採種に注意が必要（褐斑粒の発生）。粒大は小さいが、外観品質は比較的良い。臍色が淡褐色であるため、用途選定では留意する。
- ・そらひびきは、機械収穫適性が劣るため、導入は難しい。ダイズモザイクウイルス A～E 6 系統に感受性のため、採種に注意が必要（褐斑粒の発生）。

東予

- ・そらたかくは、収量調査は未実施であるが、莢数は多いため、収量性は高いと思われる。
- ・そらみのりは、熟期が遅いため、麦作との二毛作地域である当地域では向いていない。

西予

- ・当該品種は、奨励品種決定試験初年度のため継続して判断する。